

# 島原半島ユネスコ世界ジオパークにおける“火山 funfan プロジェクト”の取り組み

島原市地域おこし協力隊  
火山 funfan プロジェクト代表 倉林実央

## 1. はじめに

幼少のころから火山やその噴火に興味があったものの、火山といえば、噴火災害を連想する人も多く、火山に対するネガティブなイメージを持つ人も多い。しかしその一方で、火山は美しい景色を創り出し、温泉や湧水、農作物を育む土壌といった恵みもたらしてくれる。自分は火山学者にはなれないが、火山に興味を持ち、火山研究者を志す子どもたちを増やす活動ならできる。これが、“火山 funfan プロジェクト”を始めたきっかけである。火山に親しみ、火山を楽しむことを目的としたこのプロジェクトは、島原半島ユネスコ世界ジオパーク（以下島原半島 UGGP）が目指す持続可能な地域社会の構築の達成に貢献する、と考えている。

## 2. 活動内容

### 2-1 火山 × 食

島原半島で収穫できる農作物は、火山由来の地質と深く関係している。右の島原半島地質分布図と、右下の島原半島土壌分布図を比較すると、地質と土壌の分布が対応していることが分かる。島原半島には主に 3 種類の土壌が分布しており、それぞれの特性に合った農作物が作られている。つまり、島原半島の農作物は、雲仙火山の地質の違いに対応しており、長期間の火山活動によってもたらされた恩恵と言える。

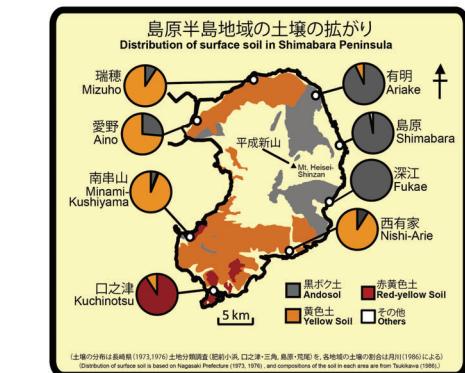
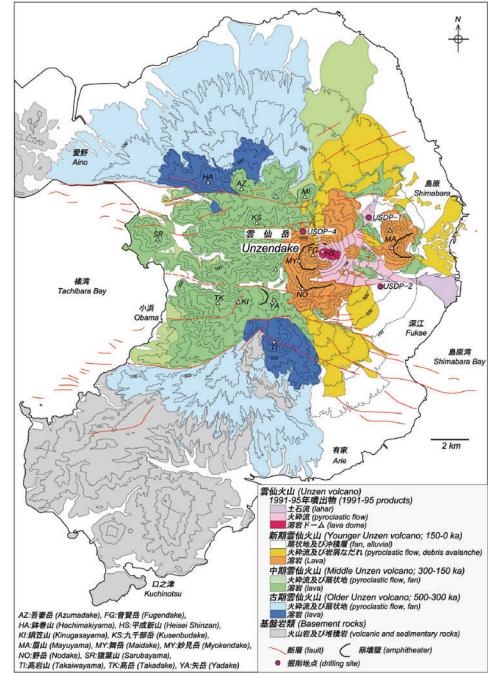
火山に興味を持ち、親しみを感じてもらうには、多くの旅行者や地域の人が関心を持つ「食」が、前述のように火山からの恵みであることが認識できるよう情報発信を行うと良い。そこで、島原半島産の食材にこだわってメニューを提供している地元業者と連携し、火山と食を同時に楽しむメニューの開発を行った。

#### 2-1-1 「火山弁当」の開発

島原市内の業者である「島原むすびす」と、4 か月かけて火山をテーマにしたお弁当を開癡した。「火山弁当」と名付けたこのお弁当には、食材と火山との関わりを紹介したお品書きをつけ、購買者が地元産の食材を楽しみながら火山との関わりを知ることが出来る。

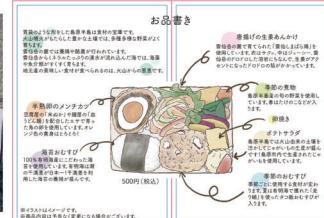
2021 年 5 月 3 日に販売を開始したところ、初日はすぐに完売となった。また、この「火山弁当」の発売を島原半島 UGGP の公式 Facebook ページに掲載したところ、3776 件のリーチ数と、569 件のエンゲージメントを得た。これは、島原半島 UGGP の Facebook ページでは史上最多である。

この反響から、火山弁当は現在「島原むすびす」だけでなく、島原病院の売店や修学旅行生向けのランチ、さらには島原市で撮影される映画「今はちょっと、ついていないだけ」のスタッフのロケ弁にも採用されている。



【上：島原半島地質分布図 下：島原半島土壤分布図】

製造・販売：島原むすびす（悠久会）  
販売開始：2021年5月～  
採用実績：島原病院売店、修学旅行、  
ロケ弁当（映画「今はちょっと、ついていないだけ」）



【火山弁当とお品書き】